

新公立刈田総合病院の 実施設計の概要がまとまりました



完成予想図（外観）

一市二町の皆さんが待ち望んだ新病院実施設計の概要がまとまり、平成十二年三月二十七日に白石市外二町組合議会全員協議会、四月十七日に白石市、四月十九日には蔵王町と七ヶ宿町の議会全員協議会において、それぞれ報告しご理解をいただきました。そこで、今月号から三回シリーズで実施設計の概要を紹介いたします。

基本的な考え方

平成十年十一月、基本設計として①利用者にわかりやすい病院②快適な癒しの環境を持つ病院③免震構造を導入した災害拠点病院④将来の必要な増改築に対応可能な病院⑤維持費が安くすむ病院の五つの柱からなる計画が打ち出されました。

その後、建設委員会・建設幹事会は実施設計に向け何度も会議を重ねながら検討してきました。さらに全科・全部門の多岐にわたる要望を設計に取り入れるため、数回にわたり職員との

意見交換を行いました。

その結果、皆さんから最も要望の高かった救急医療とリハビリ医療に関する部門が基本設計から大きく変わり、さらに充実した内容になります。

一方、建物の中をバリアフリーにすること、外来を受診される患者さんはすべて一階だけで済むようにすること、そして光と風と緑を取り入れた病室を三階にまとめたことは、当初からの考え方として掲げており、患者さん中心の立派な病院に生まれ変わろうとしています。

ピロティ型エントランスのイメージ



外来待合のイメージ



病室のイメージ

